群馬県みなかみ町観光活性化特集

ウォーターツーリズムで新たな需要開拓

観光は極めて重要な産業
首都圏からのアクセスいい
アウトドアメニュー充実

群馬県最北端に位置するみなかみ町。県内最大の18の温泉地があり、アウトドア・アクティビティの聖地といわれる。四季を通じて楽しめ、観光客を飽きさせることはない。鬼頭春二町長にみなかみ観光の現状と課題を聞いた。聞き手は論説委員の内井高弘。（町長室で）

特別インタビュー

みなかみ町長　鬼頭　春二氏

きとう・はるじ　1971年４月月夜野町役場入庁。2007年４月みなかみ町役場総務課長。副町長を経て、18年10月町長就任。みなかみ町出身、70歳。

――みなかみ町政における観光の位置付けは高いですか。

「観光と農業で成り立っている町であり、極めて重要な産業だ。私自身は観光との接点があまりなく、観光といえば温泉に入って、おいしい料理を食べるというごく一般的なイメージしかない（笑い）。多くの人に足を運んでいただき、お金を落としてもらうことは町にとっても大きなメリットであり、観光事業者、町全体が元気になる。観光振興には今後も力を入れていく」

■　■

――みなかみの観光魅力をどう捉えていますか。

「首都圏からのアクセスが良く、東京から上越新幹線で約1時間、高速道を使えば1時間半ほどで来れる。『みなかみ18湯』という個性豊かな大小18の温泉があり、日帰りも含め、年間400万人ほどの観光客が訪れている」

「ユネスコエコパークとして認められた大自然を生かしたアウトドアアクティビティはメニューが充実しており、子どもから大人まで幅広く楽しめる。これら観光を取り巻く形で農産物の販売や地産地消、観光農園におけるフルーツ狩りなどを通じて農業分野にも広く波及している」

――温泉と自然の豊かさは県内有数の規模だと思いますが、課題といえば何でしょう。

「観光資源が広く点在しており、これをつなぐ2次交通の整備が遅れていること。採算性をどう確保するかなど問題も多いが、各分野の関係者と連携しながら対策を検討していく。また、地の利が良すぎてか、日帰り客が多く宿泊に結び付かないのが実情だ。滞在型観光をどう構築していくのかも課題だ」

――観光客数に変化はありますか。

「ここ5年間ぐらいは宿泊が110万人台、日帰りは260万人台で推移していたが、コロナの影響で2020年度は宿泊で46万人、日帰りは141万人となっている」

■　■

――コロナのダメージは大きいようですが、観光に関する支援策は。

「20年夏に、全町民に対して町内で利用できる1万円の『臨時特別商品券』、同年12月からは5千円で8千円分利用できる『エールみなかみ商品券』を販売した。さらに、21年7月には2千円で1万円分、飲食店や宿泊施設で利用できる『ふるさと応援チケット』も販売し、町民の生活支援や地域経済の活性化を図った」

「感染症の再拡大で県の『愛郷ぐんまプロジェクト』が中止となり、われわれの施策にも影響が出ているが、再開に備え、いろいろな手を検討していく」

――コロナ禍はインバウンドにも大きな影響を与えています。

「台湾やタイを中心にコロナ禍前は3万人ほどの外国人が来ており、8万人に増やそうとの計画もあったが、ゼロベースになってしまった。しかし、収束すればまた外国人は来てくれる。今は我慢の時だ」

――コロナ禍は働き方にも及び、観光面ではワーケーションに注目が集まっています。誘致に取り組む観光地も少なくありませんが、町の現状は。

「遊休施設となった旧月夜野幼稚園や古民家の改修などに取り組み、ふるさとワーケーション・テレワーク拠点を整備した。今後は都心企業の地域進出や体験研修を促す施策の検討、さらなる受け入れ増を目指した施設の拡大、および支援サービスの充実化を図る」

「現在、テレワークセンターMINAKAMI、さなぎ庄(の)テラスなど、町内には五つの施設がある。ワーケーションに対応する旅館・ホテルはまだ見当たらないが、何が必要なのか、町の方でデータを収集し、フィードバックできればと思う」

――いま、観光予算はどのくらいですか。

「21年度の当初予算は約12億2千万円だが、コロナ対策の補正を含めると14億5千万円となる」

――ウィズ・アフターコロナの観光振興をどう考えていますか。

「地域資源を活用したニューツーリズムを推進していく。その一つが『ウォーターツーリズム』の取り組みだ」

「町は一晩に雪が1㍍も積もる時があるが、この雪はゆっくりと時間をかけて地中に染み込み、温泉となり、首都圏3千万人を支える命の水となる。まさに地域の宝物だ。その水をルーツとした特別な着地型体験プログラムを販売する観光庁の補助事業（既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業）の実証実験が1月いっぱい行われた」

「プログラムでは、町が誇る谷川連峰の山麓をプロのガイドと共にスノーシューを履いてトレッキングするツアーや、ユネスコエコパークに象徴される町の森の木の葉を蒸留して作るアロマ体験、フィンランド式サウナに入った後に雪の中に飛び込んで体を整えるプログラム、さらにオリジナルのクラフトビールを飲んだりした。水のルーツを知るというツアーが実施され、好評だった」

「今後はこれらをブラッシュアップし、みなかみの新たな楽しみ方として提案していく」

■　■

――先ごろ、町と群馬銀行、東大、オープンハウスが地域活性化に関する包括連携協定を結びました。どんな内容でしょう。

「中山間地域における地域社会の発展と地域経済の活性化、および町民サービスの向上に資することを目的に、①魅力ある観光地づくりおよび誘致に関すること②サスティナブルなまちづくりの推進に関すること―など七つの観点から継続的に連携したまちづくりに取り組んでいく」

――町の発展には観光事業者の協力が不可欠だと思います。期待の声をお聞かせ下さい。

「コロナ禍で厳しい環境下にあるが、何より防止対策に万全を期していただきたい。町も観光振興に引き続き取り組んでいく。率直な意見交換を重ね、皆さんと共にお客さまを迎えたいと思う」

2次交通の整備が課題
観光予算は15億円弱
ワーケーション対応も

みなかみの名旅館・名所

法師温泉 長寿館

国登録文化財 源泉の上に湯船

上信越高原国立公園内にある秘湯の1軒宿が法師温泉長寿館。木造茅葺（かやぶ）きの本館や別館、「法師乃湯」＝**写真**＝はいずれも国登録有形文化財である。本館と法師乃湯は明治期に建てられ、その重厚さは歴史の重みを感じさせる。「日本秘湯を守る会」の会員宿でもあり、秘湯ファンにはたまらない。

木造大浴場である法師乃湯は、鹿鳴館風のアーチ窓の和洋折衷様式が独特な雰囲気を醸し出し、宿のシンボルとなっている。国鉄（現JR）のフルムーンのポスターやCMの舞台で一躍有名に。

法師乃湯のお湯は50年ほどに前に降った雨が長い年月をかけて、底に敷き詰められた玉石の間から湧出している。源泉の上に建物があるといったら分かりやすいか。夜は行灯の明かりがほのかに映え、雰囲気は格別だ。

☎0278（66）0005。

上牧温泉 辰巳館

山下清の愛した宿 夕食も工夫凝らし

「裸の大将」こと、画伯の山下清と深い縁を持つのが上牧温泉辰巳館。何度も辰巳館を訪れ、上牧温泉や辰巳館を題材に貼り絵や水彩画などの作品を残している。

辰巳館には六つの風呂があるが、大きな埴輪（はにわ）がデンと構える「はにわ風呂」には、画伯本人も参加して仕上げたというタイルの大壁画がある＝**写真**。「大峰沼と谷川岳」が描かれており、ほっこりとした気持ちにさせてくれる。

谷川岳の雪解け水が地中に染み込み、17年の歳月をかけて湧き上がってきた温泉は、玉の肌になれる美肌の湯だ。

夕食には、その昔、武士が山菜や川魚を剣にさし、焚火（たきび）にかざして焼いた「剣先焼き」をルーツにした郷土料理「いろり献残（けんさん）焼き」を提供。ぜひご賞味あれ。

☎0278（72）3055。

宝川温泉 汪泉閣

混浴露天風呂も 湯浴み着で安心

山に囲まれた豪雪地帯ある宝川温泉。豊富な温泉を生かした露天風呂＝**写真**＝が人気なのが汪泉閣。営業開始は大正12（1923）年で、歴史ある旅館の一つだ。雑誌の撮影や映画のロケなどにも使用され、映画「テルマエ・ロマエⅡ」にも登場した。

露天風呂は毎分1800㍑の豊富な源泉掛け流しの「般若（はんにゃ）の湯」と「摩訶（まか）の湯」、約200畳の広さを誇る「子宝の湯」、女性専用の「摩耶（まや）の湯」がある。

川をはさんで点在しているので、吊り橋を渡って移動するのが何とも楽しい。冬は雪見風呂が堪能でき、美しい景色の中での入浴は格別。摩耶の湯を除いていずれも混浴となるが、湯浴み着を着用しての入浴なので女性や混浴温泉が初めての人でも安心して入れる。

☎0278（75）2611。

月夜野びーどろパーク

充実した施設観光 クラフトビールも

月夜野びーどろパークは、世界に誇るガラス製造の技術と歴史を持つ上越クリスタル硝子（ガラス）の観光施設。見学、体験、土産、そして食と、充実した内容でお客さまを迎える。

ガラス工場では日本のトップクラスの職人の技を間近に見られ、体験施設＝**写真**＝では灼熱のガラスを風船玉のように膨らまして一輪挿しを作ったり、自分で描いた絵や文字をそのままガラスに彫刻するなど、オリジナル作品が作れる。

醸造所併設のレストラン「ドブリーデン」では地ビール「月夜野クラフトビール」が味わえる。世界的ビアコンペティション「AIBA」で銀賞を受賞したみなかみ発のクラフトビールで、個性的な味はビールファンをうならせる。「ガラスもビールも手づくり」でその良さを発信する。

☎0278（62）2211。